



平成23年3月

Vol. 14

発行／名田島自治会連合会  
編集／自治会総務部会  
印刷／株式会社山口県農協印刷



## 創める<sup>はじ</sup>

名田島自治会連合会

会長 藤山 光美

何事によらず、何かを創めるということは、大変なことです。創始、創造、創業などにその語が使われていますが、ぼやっとして何もないところから、有形・無形を問わず何かを生み出すことです。

先ずそのことに関する諸々の情報を集め、意識的・無意識的にそれらを結びつけたり、切り離したりして思考・熟成して、ある時に構想が浮かんできます。この間の苦しみは大変なものです。この生みの苦しみとそれによる喜びなしには創造はできません。

従って、世の中で最初のアイデアや作品などは価値があります。最初の文章・絵画・音楽などの芸術品には著作権が認められ、学術的発見にはノーベル賞やフィールズ賞などの賞が贈られ、工業技術や物質などの発明には特許や実用新案などの工業所有権が与えられ、その功績を称え、社会的に保護されています。

一番手こそ価値があり、二番手、三番手はほとんど認められません。この傾向は、先進国ほど顕著です。最初のアイデアを得ることが大変で、それを真似ることは割と簡単なことです。何しろ、最初は何を考えてよいのか、どの方向に進んでいけばよいのかも分からず、答えがあるかどうかさえ分からないのですから、「一灯を提げて暗夜を行く」ようなものです。

日本において、高度成長期は先進国の技術を導入し、大量生産により経済発展を遂げました。最近では、iPS細胞の樹立や小惑星探査機「はやぶさ」の成功などが物語っているように、一番手の技術が持てるようになりました。特許出願件数などにおいても他の先進国にひけをとらなくなり、先進国とは技術交換により、また後進国には技術輸出により外貨を稼いでいます。

名田島自治会連合会では、今年度初めに大幅な組織改革を行い、地域づくり機能を有する新しい組織に生まれ変わりました。私は、会長としてこの組織改革に携わりましたが、結構きついものでした。名田島自治会連合会は、八年前に発足しましたが、この最初の発足に比べれば、この度の改革の苦労は高が知れているのではないかと思います。

先輩方の生みの苦しみとそれに続いたゆめぬ努力に敬意を表します。

これを引継ぎ、発展させていくことがわれわれ後継者の使命です。パラダイムの転換が必要なような大きな変革はできないかもしれませんが、創造の要素を積み重ねていきたいものです。

たゆまぬ継続と創造の積み重ねが発展につながると信じます。

## 平成22年度 自治会連合会実施事業一覽表

|      |                       |       |                         |       |                                 |
|------|-----------------------|-------|-------------------------|-------|---------------------------------|
| 4月5日 | 監査報告                  | 6日    | 第4回委員会報告                | 8日    | クラブの清掃・草刈り                      |
| 8日   | 第1回運営委員会              | 7日・8日 | 山口市自治会連合会<br>先進地視察研修    | 8日    | 第8回運営委員会                        |
| 14日  | 名田島自治会連合会総会           | 20日   | 生活環境部会                  | 9日    | 第8回運営委員会報告                      |
| 19日  | 要望事項取りまとめ             | 22日   | 生涯学習部会名所旧跡<br>現地調査      | 21日   | ふるさとまつり                         |
| 15日  | 名田島自治会連合会総<br>会議事録    | 24日   | 小学校改築意見交換会              | 26日   | 山口市自治会連合会第<br>2回勉強会             |
| 26日  | 健康福祉部会                | 26日   | 防災部会                    | 12月6日 | 第9回委員会                          |
| 29日  | 総務部会                  | 8月2日  | 第5回委員会                  | 7日    | 第9回委員会報告                        |
| 5月3日 | 地区民体育大会               | 3日    | 第5回委員会報告                | 15日   | 生涯学習部会開催<br>総務部会                |
| 7日   | 名田島青少年健全育成<br>地区民会議総会 | 10日   | 生活環境部会                  | 17日   | 山口市南部地区地域づ<br>くり協議会事務局情報<br>交換会 |
| 10日  | 第2回運営委員会              | 20日   | 山口市自治会連合会第<br>1回勉強会     | 26日   | 山口田園朝市フリー<br>マーケット（第6回）         |
| 11日  | 生涯学習部会開催              | 22日   | 名田島ボランティアク<br>ラブ清掃作業    | 1月10日 | どんど焼き                           |
| 13日  | 第2回運営委員会報告            | 24日   | 生涯学習部会開催                | 11日   | 土嚢つくり                           |
| 15日  | 小学校校舍改築懇談会            | 29日   | 防災訓練                    | 11日   | 第10回委員会                         |
| 17日  | 生活環境部会                | 9月9日  | 第6回委員会                  | 12日   | 第10回委員会報告                       |
| 22日  | 名田島小学校改築に関<br>する意見交換会 | 10日   | 第6回委員会報告                | 19日   | 交通安全高齢ドライ<br>バー1日ドッグ            |
| 24日  | 山口市自治会連合会総会           | 24日   | 生涯学習部会                  | 20日   | 生涯学習部会                          |
| 28日  | 生涯学習部会開催              | 29日   | 健康福祉部会                  | 21日   | 小学校改築検討委員会                      |
| 6月7日 | 第3回委員会開催              | 28日   | 小学校改築に関する市<br>教委との情報交換会 | 2月7日  | 第11回委員会                         |
| 8日   | 第3回委員会報告              | 4日    | 第7回委員会                  | 8日    | 第11回委員会報告                       |
| 14日  | 田園発行（13号）             | 5日    | 花いっぱい運動意見交<br>換会        | 12日   | 生活環境部会                          |
| 19日  | 自主防災リーダー養成<br>会議      | 8日    | 市道拡幅現場立会                | 14日   | 第1回山口市南部地区<br>連絡協議会             |
| 28日  | 山口市自治会連合会臨<br>時勉強会    | 11日   | おいでませ国体山口市<br>クリーンアップ運動 | 20日   | 山口・田園マラソン大<br>会                 |
| 7月3日 | 小学校改築意見交換会            | 11月5日 | 地産地消研修視察（お<br>おき循環センター） | 3月7日  | 第12回運営委員会                       |
| 5日   | 第4回委員会                | 6日・7日 | 名田島ボランティア               | 10日   | 田園発行（14号）                       |
|      |                       |       |                         | 28日   | 新旧運営委員会                         |

## 自治会5部会のこの1年

### 総務部会

部会長 三浦 功次

一、広報活動では、連合会た  
よりとして「田園」第13号・14  
号の発行をしました。

特記として、今年度から連合会  
が大所帯になったことから、加  
入13団体の紹介をお願いし、増  
ページにしました。

二、地域づくり計画の推進と  
して、「地区民体育祭（4/29）」「ふ  
るさと祭り（11/21）」「田園フリー  
マーケット」（12/26）」「田園マラ  
ソン」（2/20）等、各イベント  
の開催に協力、又、経費の一部  
助成を行いました。

尚、今年度「ふるさと祭り」  
では、新たに「大道芸」を加え  
て大変好評でした。

三、国体花いっぱい運動とし  
て、推奨花のサルビア・ブルー  
サルビア・マリーゴールドの「セ  
ル苗、ポット（7/10）・プラ  
ンター（10個）・土（7/31）  
をそれぞれ13集落へ配布し約三  
カ月間、育成練習を行い、南総  
にて（10/4）経過の情報交換  
育成アンケートを実施しました。  
本年は、「山口国体」本番で  
当南総合センターは、バレーボ  
ール会場にもなっております。



推奨花

会場周辺の幟と花



生涯学習部会

ふるさと名田島の

マップづくり

部会長 岡本 紀稔

マップづくりは、ふるさとに愛着と誇りと先祖を大切にする心を育むことを掲げスタートしました。編纂メンバーは、穂本太達、伊藤米秋、金子和正、木村恒之、山根義彦、松永君子、新谷貴司、西正文、岡本紀稔（敬称略）の9名です。先ず、2日間地区内の史跡等を巡り写真を撮り、それを基に毎月1回の会合を開き作成に取り組みました。地区内を巡る事によって新たに数多くの先祖の営みを肌で感じる事ができ感動を覚えしました。2月上旬にJA印刷センターへ原稿を提出しましたので、出来上がりしましたら、各戸へ配布と地域交流センター（カウンスター）等へ置く予定です。今後は史跡等の整備が必要と考えています。

元との意見交換を経ながら進捗されます。工事期間中、各部会団体が活動に際し、運動場や体育館が使用できず、南総等他施設を使用される際は、利用料については事務局へご相談下さい。

なお、永年の念願でありました運動場の拡張が、上野保昌様（向山上）から用地提供を頂きまして実現することになりました。衷心より感謝申し上げます。また拡張に併せて、教育振興会のみなさんから芝生化実施の申し出がありました。芝生を永続的に育成管理して行くためには、地区の皆さんの参画意識と協力がなければなりません。そこで、育成管理に必要な設備、機具や作業等を把握し、システム化した管理体制を築き、実現に向けた合議が必要と考えます。皆様の忌憚ないご意見をお寄せ下さい。

学童の安心安全を守って5年「名田島まもり隊」の皆さん、毎日ご苦勞様です。

子どもさんを迎える立哨を継続して行なうことは、肉体的にも、精神的にも大変とお聞きしています。これまでのボランティア活動へのさやかな志として「図書券」をお送りさせて頂きます。引き続き見守り活動にご尽力頂きますようお願い致します。

来年度から防犯灯のLED化が予定されています。申請により2/3の助成はありますが地

元負担が伴いますので、計画的な切り替えが必要と考えます。防犯対策協議会と共に取り組んで参ります。



南蛮唐桶



手水川（面影川）

健康福祉部会

部会長 福永 立美

昨年度は資源ごみの有効利用とごみ減量化の為に山口市リサイクルプラザ施設と萩プラスチック包装のリサイクル施設会社への視察研修を行いました。今年度は部会の重点項目で食の安全安心というテーマで十一

月に福岡県大木町（おおき循環センターくるるん）へ三十九名の参加をえて視察研修に行きました。

視察は従来のごみ施設とは違い、生ごみなどをバイオ資源として、積極的に地域において循環利用するための施設で、まず生ごみの分別（家庭の台所や学校給食から出る生ごみ、し尿・浄化槽汚泥）を発酵させ資源化（メタン発酵バイオガスをエネルギー利用した後、有機液肥を作る）液肥の農地還元をし、液肥は田んぼや畑に散布して、液肥や堆肥を使った農産物を給食や家庭の台所へとの農産物を供給し、また出た生ごみを分別へと循環するリサイクル施設でした。

研修の後アンケートを実施した。内容を一部紹介

○山口市も生ごみのリサイクルの経済効果を試算することを要望します。

○生ごみ回収に早く取り組んでほしい。

○地域全体で取り組み精製した液肥は成分等がわかっているため、安全安心な食料として位置付けることができると思われる。

研修にあたってすぐに成果はでないが参加者におかれましてはごみに対する認識が変わられたと思われる今後の行動での成果を期待します。

参加者に浅原議員も行かれ、

十二月議会において資源循環型生ごみ等の減量化対策について①生ごみの分別資源化②し尿、浄化槽汚泥の資源化③生活ごみ処理機の普及啓発、以上の質問をされました。

環境問題と合わせて、安全安心な農作物の生産に務めたい。

●若者の定住促進をテーマとして名田島地区における空家の調査を行った結果、死亡、転居、ホームへの入居、病院入院、他の場所へ持家があるなど十六件の空き家がありました。

今後は空き家が今以上に増えると思われるので地区全体として議論が必要とされ、地域の活性化と合わせ、子供や独居老人の見守りが重要です。



おおき循環センター「くるるん」



## 生活環境部会

部会長 福田 啓亮

今期、「地域づくり協議会」が正式にスタート、部会においては前期までは、要望書を市へ改善依頼を提出しお願いのみでしたが、今期より、市道清掃事業交付金以外に「法定外公共物整備」（単市土地改良）事業が追加され交付金額が増え、土木事業は、企画から施工まで部会



生活道路蓋掛「法定外整備事業」

施工前



施工後

が担当し、交付金は配分枠いっぱい執行しました。

また、名田島全体が安全安心に生活が出来るように、一件当り五割の補助で最高五万円の「名田島地域生活環境補助金」制度の立ち上げを行い、実績で四件活用あり。

## 一、要望事項の推進

各集落より継続を含み一月末現在、七十一件の要望があり、行政への陳情、又交流センター、自治会、各集落で処理するものなどに仕分けを行い、検討結果を要望元に一件一件文書でその都度通達を行った。要望七十一件中実施状況は二十七件（三十八％）又未実施「要望事項」については次年度引き続き要望、陳情して行きます。

## 二、環境美化の推進

名田島ボランティア及び協働支援による、榎野川河川公園、



河川公園草刈り

湯上中学校通学路草刈、竹立木伐採の実施（五、八、十一、三月、年四回）

## 三、市道清掃事業交付金

各集落で管理区分の草刈等実施（年二〜三回）

## 四、草刈等サポート

・自走式草刈機 一台  
・刈払式草刈機 五台（竹刈用替刃、燃料付き）  
備え付けしていますので積極的に利用してください。  
今後とも、生活環境部会へのご協力ご支援をよろしくお願いいたします。

## 防災部会

部会長 中村 芳男

今年度、防災部会を中心に八月二十九日（日曜日）に地域交流センターを拠点で、東開作集落を対象として「南若川が危険水域に達した」ことを想定しての情報伝達訓練、避難訓練、講演、土嚢作り訓練、炊き出し訓練、全集落を対象として情報伝達訓練を実施しました。参加者は秋穂黒瀉地区の三名の見学者を含めて、一一八名でした。

NPO法人ぼうぼうネット事務局長山崎さんより「山口県で起きた災いを教訓にこれからの



炊き出し班によるむすび作り

地域防災を考える」講演をいただき、又、防災グッズの販売も行われ、炊き出し班の協力を得て、非常食を百八十食作り、避難住民への配食防水を想定した本訓練は、東開作の皆さんの統制のとれた臨場感あふれる訓練と防災委員を始め、防犯交通整理等関係団体のご協力を頂き無事終わりました。

十一月三日に佐波川流域防災訓練「徳地」島地区の防災訓練に四名参加しました。又、一月十日どんと焼き後、防火講習会を行いました。午後より名田島小学校東側、新開作西集会所西に水防用土砂を土嚢袋につめ、

備蓄用土のう作り



一ヶ所、二百袋をパレットに積み耐候性シートを被せて備蓄しました。防災委員、市消防団員合同で参加三十名で行いました。今後とも地域の防災部会として、防災意識の高揚に努めて行きたいと思しますので、ご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



青少年健全育成  
地区民会議

会長 中村 芳男

会長 田中 雅史

体育協会の紹介

基本方針「子どもは地域で育つ、地域は子どもで結ばれる」という理念の下、家庭、学校地域の連携を密にして地域ぐるみの活動を推進し、活動を通して心身共に健やかな青少年の育成を図ることを目的にしています。

名田島地区体育協会は名田島区民の親睦融和と体力健康づくりに寄与すると共に、社会体育活動の一環として生涯スポーツの普及及び振興を図ることを目的に活動しています。

名田島では「声をかけあって、みんなできつこう、明るい名田島」をスローガンにしています。主な事業は、子どもの居場所づくり推進事業、環境浄化活動、巡回活動、夏休みサマースタディー、青少年社会参加活動、又子ども会議、地産地消体験、食育講座、夜間パトロール、危険箇所草刈り、クリスマスケーキづくり、もちつき、七草がゆ、七穀がゆ、火の山登山、また、名田島ボランティアクラブに参加し、通学路の草刈り等、協力しています。

近年は人口減、高齢化の影響のためか体育行事によつては参加出来ない地区も出てきており残念に思っておりますが、体育行事を通じて「元氣な名田島」を継続出来るように委員の皆さんと活動して参りたいと思います。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

行事内容

- 4月 地区民体育大会
- 7月 ソフトボール大会
- 9月 市民体育大会
- 9月 ソフトバレーボール大会
- 12月 卓球大会
- 2月 サッカー大会



「元氣な名田島」体育大会



## 山口市農業委員

会長 田中 省治

農業委員会とは、

- 一、農地転用に関する現地確認
- 二、無断転用の有無の調査
- 三、農地の貸借（利用権設定）
- 四、農地パトロール（遊休農地）
- 五、農地等の売買の斡旋立合い
- 六、農業振興に関する市長の建議書の提出等が主な任務です。

協議の場として、川東地区協議において協議した事項について農地部会の月例会議で審議され、市県に許可判断を申請します。振興部会は、現在のところあまり活動なされていませんが、現在地域の農業振興について、私共の提案により、協議会を充足したばかりです。

山口南部地区に於ける農産物のブランド化に取り組んでいきたいと思っています。これについては、県、市、農協、農業委員会と協力し、強力な組織にして行きたいと願っています。

特に野菜、例えば玉葱・人参・ジャガイモ・はなつこりー・かぼちゃ・キャベツ等のブランド品を作って行きたいと思っています。

生産者の皆様からもこれとは思われる品目があれば、ご一報下されば幸いです。

あと一年半の任期ですが、農業委員として一生懸命頑張っていく所存です。

## 樫野川東土地改良区

## 緑の名田島づくり

常務理事 河村 博次

「土地改良区ってなに？」なんだか得体の知れない団体に聞こえる。改めてこの組織を見つめ直す機会が与えられたので、土地改良区の紹介をしよう。

「山口市樫野川東土地改良区」これが正式名である。

樫野川の東側に位置したところの農地、農業資産を維持、改良する土地改良区と称する公益法人ということになる。昭和二十六年淋洗井堰の改修で設立され、認可番号は山口第二号と早い。

特に活動が顕著になったのは昭和五十年代の始めに取り組まれた中小河川の浚渫、暗渠排水の施工からであらう。これ

らの事業の取り組みで排水の効果が出始め、水田裏作の作付面積が増加してきた。総合排水を協議する中で土地基盤整備をすることにより湿地地域を一挙に汎用性のある土地条件に改良する方策が持ち出され、「いつでも、どこでも、なんでもつくれる名田島」、土地利用率を200%にすることで「出稼ぎのない緑の名田島」のキャッチ

フレーズで事業が推進され、ほ場整備、湛水防除事業は完了された。下水事業にも取り組み管理運営組合へ移管した。現在は農業資産の維持管理が主とした業務となっている。『水との闘い』

を地域総ぐるみで行い、諸事業を勝ち取ってきた。農業情勢の不安定の中苦慮しているが、これからはこの大地に緑あふれる名田島が築き上げられることを望み紹介文とする。



林洗井堰



大樋門



山口中央農業協同組合

名田島支所長  
浅川 雅浩

総合農協の支所として信用事業・経済事業を職員十五名で営業しています。

信用事業とは、貯金・融資・長期共済（生命や建物共済）、短期共済（自賠責や自動車共済他）からなっています。

経済事業は、営農指導・農産物販売・生活購買・生産購買とに分かれています。



総合事業を上  
手に活用し、  
地元可愛さ  
る農協を目指  
して、支所職  
員一同頑張り  
ますので、今  
後ともよろし  
くお願いいた  
します。

それに、名田島支所には、給油所（ガソリンスタンド）と農機センターが併設されており、農協の主要な施設が集まっている支所です。

農家の経営安定を図る為、地元産農産物を学校等へ供給する地産地消の取り組み、生産者と消費者との交流の橋渡し役、地域に根ざした金融機関として、年金の受取りや公共料金の決済、共済の加入による万が一の備えと確実な手続きと



えだ豆フェスタ

老人クラブ

会長 石川 秋彦

当地区は少子高齢化により、老人の数が多く、地域別五部落の内、一単位クラブが脱退され、今は四地区単位で運営しています。老人クラブは地区のため協力し、今後ともよろしく願います。老人クラブと致しましては、健康のため現在もゲートボールクラブを行っています。

又、年間ゲートボール・グラウンドゴルフ・ペタンク等、市主催の行事にも出場しています。健康の為にふるって参加して下さいようお願いします。

年間九・十月頃には、市主催の行事に各支部共出場しています。

今後共、健康で永く生活に生きがいを感じて下さい。

若い世代の為に長生き



し指導生活に期して下さい。家にこもらず進んで参加しこれも健康生活の一環と想っています。何事にも、どしどし参加することをモットーにして下さい。これも健康のためと心に置きとんどん参加をお勧めします。



## 山口市消防団

## 川東方面隊 第3分団

(名田島)

分団長 末永 林方

概略を説明します。

二月一日現在で団員三十一名です。構成は本部一班二班三班と三役です。内容としまして本部は、消防車を所有し名田島全体を八名で担当し、一班は可搬ポンプ一台を所有し担当地区を西開作、島、東開作を五名で担当。二班も可搬ポンプ一台を所有し向山全体を七名で担当。三班も可搬ポンプ一台を所有し新開作、昭和区全体を七名で担当しています。分団全体としての年間を通した活動内容を記述します。



山口市消防団小型ポンプ操法大会出場

消防署での機材の点検



消防車の点検は一月を除き毎月行っています。偶数月は小郡南消防署に移動して総点検をします。各班の可搬ポンプも同様です。他には山口市消防団操法大会への出場、又、年末には二日間夜警を行っています。以上が主な活動です。

最後にほとんどの団員が仕事をしながらの活動が現状で、平日の対応というのが課題になっています。団員全員が名田島地域住民の最も身近な防災組織ということを念頭に置いて日々活動しています。

## 地域交流センター

## 名田島の良いところ

所長 小野 悟

一月十日のどんと焼きに参加して、餅を揉みました。熱くて千切れないので、女性に千切ってもらい、揉みましたが丸くありませんでした。餅をつけば、石臼をつくし。でも、大勢集まられて、とても楽しかったです。名田島のどんと焼きは、老人クラブ・婦人会・青少年協・子ども会等の合同行事です。子ども達がついた餅は、小学生が、自作の手紙を添えてお年寄りに配りました。名田島は人を大事にされます。帰り際、子ども達は、整列して世話してくださったかたへ、お礼の挨拶をします。当たり前の事でしようが、なかなか出来ません。

いしうす  
石臼による  
もちつき体験

子ども達からお年寄りまで参加される行事は、名田島らしくて良いです。行事の中で子ども達は、自然にお年寄りの間に入って行きます。そしていろいろな事を学びます。

名田島は、保護者以外のかたが、学校行事・見守り隊・通学路の草刈・食事づくり等子ども達のために活動されます。皆さんの日常の活動は、子ども達も知っているでしょう。大人と子ども達の良い関係は、名田島の良いところです。



## 事務局より

三月一日より事務局員として東開作の乗安ちとせさんを採用しました。よろしく願い致します。



## 編集後記

今年は、山口国体を迎えるにあたり、自治会で取り組まれている「花いっぱい」に協力を、婦人会で取り組む「ミニちようちん」作りを、地域の皆様の協力によって十月には立派に花も咲き、可愛いミニちようちんも出来上がり、地域ぐるみで力を合わせることが国体参加だと思っています。